

東久留米交響楽団 第32回定期演奏会

指揮 征矢 健之介

Conductor Kennosuke Soya

ヴァイオリン独奏 ジェラルド・プーレ

Violin Gérard Poulet

カミーユ・サン＝サーンス

Charles Camille Saint-Saëns (1835~1921)

ハバネラ ホ長調 作品83

Havanaise E-dur op.83

ヴァイオリン協奏曲第3番 口短調 作品61

Violin Concert B-moll op.61

セルゲイ・ラフマニノフ

Sergei Rachmaninoff (1873~1943)

交響曲第2番 ホ短調 作品27

Symphony No.2 E-moll op.27

2025/5/25 (日)

13:30開場 14:00開演

東久留米市生涯学習センター まるにえホール

全席自由 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

前売 市民プラザ・東久留米市南部・東部・西部
各地域センター・生涯学習センターバオバブ

交通機関

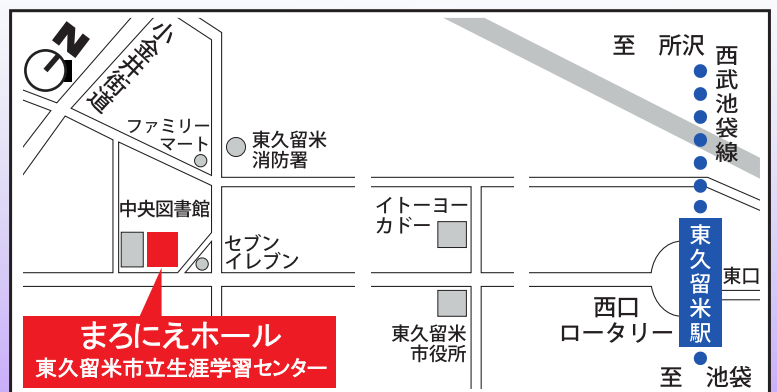
- ・西武池袋線東久留米駅西口下車 徒歩15分または
西口より西武バス利用で中央図書館下車
- ・ご来場には電車・バスをご利用ください。

東久留米市文化協会後援

HP: <https://higashikurumeso.org/>



当団HPはこちら



指揮：征矢健之介

1954年、長野県生まれ。早稲田大学教育学部を経て、武蔵野音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業。これまでにヴァイオリンを萩原耕介、ルイ・グレーラー各氏に師事。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団第一ヴァイオリン奏者をつとめた。

早くからアマチュアオーケストラへの教育指導活動にも熱心に取り組み、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団のトレーナー兼相談役を務め、早稲田大学OBオーケストラ、Ensemble Musik-quellchen (EMQ)、ニューイヤー祝祭管弦楽団、伊那フィルハーモニー管弦楽団などの指揮・指導を行ってきた。

近年では音楽評論家としても活躍中。東久留米交響楽団へは長年指導者として参与し、2023年より常任指揮者としてタクトを取るようになった。



ヴァイオリン独奏：ジェラルド・プーレ



フランスが誇る世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。11歳でパリ国立高等音楽院に入学、2年後に首席で卒業。18歳でパガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシュテイン、H・シェリング等の巨匠に師事。世界各地でソリストとして活躍。これまでパリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ストラスブール国立管弦楽団、シュツットガルト管弦楽団、北京交響楽団、読売交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック等と共演。生涯で70枚を超えるCD (LP) を出している。86歳を越えた今も「現役」の演奏家としてコンサート活動を行い、各国の主要な国際コンクール審査委員(長)に招聘されている。長年教授を務めたパリ国立高等音楽院退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005-2009年までは東京藝術大学の客員・招聘教授を務めた。2010年から現在は昭和音楽大学教授を務める。コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、世界中でマスタークラスを行っている。日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活。日本のヴァイオリン界のレベルアップに貢献。1995年フランス芸術文化勲章、1999年フランス文化功労賞を受賞。2019年5月にフランス文化省から、フランス芸術文化勲章の最高位コマンドール (Commandeur de

P'ordre des Arts et des Lettres)を叙勲。

2019年8月に日本国内で第1回ジェラルド・プーレ・ヴァイオリン・コンクールを開催し、楽器の貸与を実施した。

2023年8月の85歳になる前日に、メンデルスゾーンの協奏曲をオーケストラと録音する偉業を果たした。さらに2024年12月にはベートーヴェンの協奏曲を藝大フィルハーモニア管弦楽団、澤和樹氏の指揮で録音した。

日本弦楽指導者協会、及び日本フォーレ協会名誉会員。ホームページ <http://www.gerard-poulet.com/>



管弦楽：東久留米交響楽団

東久留米交響楽団は1992年に東久留米市民を中心としたアマチュア演奏家が集まって設立されました。以後30年余にわたり、年1回の定期演奏会を中心に、東久留米市公民館（現：生涯学習センター）開館10周年記念第九演奏会や秋の室内楽演奏会、市民文化祭公演など地元に着した演奏活動を行ってまいりました。

これまでに指揮者の中西義忠氏、田中良和氏などのご指導・薫陶をうけ、演奏の水準も徐々に向上してきたことから、ピアニストの梯剛史氏や今回共演させていただくヴァイオリニストのジェラルド・プーレ氏など、世界的に活躍される巨匠との共演の機会も得られ、令和5年にはこれまでの功績が評価されて東久留米市文化功労賞を受賞いたしました。

当楽団の特色は、練習を市内の公共施設にて仕事に影響されにくい日曜日の夜に設定していること、また初心者も含め、どなたでも団員として参加ができるように努力をしていることです。

現在も東久留米市内外の会社員、公務員、教師、医師、学生、主婦、定年退職者、大学オケOBなど幅広い分野と年齢層の団員で活動を続けています。市内外の多くの方々のご来訪、ご参加を心よりお待ちしております。

(右のQRコードから、当団ホームページの団員募集のページにアクセスできます。)

